

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学
所属 人間生活学部
人間生活学科
氏名 梶原佳子
作成日 2025年6月10日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、
不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。

大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

「*」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

* 本学において、現在または過去数年間に担当した科目（科目名、必修 or 選択、学年等）と教育活動（ゼミ・CA 担当、学科等での役割など）を列記します。

* 果たしている自身の教育上の責務について記述します。

令和 7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第 1 Q 等をご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
発達心理学	専門科目（人間生活学科）	2 年	必修
発達心理学	専門科目（食物栄養学科）	1 年	選択
カウンセリング論 I	専門科目（人間生活学科）	3 年	選択
卒業研究 I	専門科目（人間生活学科）	4 年	必修
教育心理学	教職科目（全学部）	1, 3 年	必修
大学入門ゼミナール I	基盤科目（人間生活学科ファッションコース）	1 年	必修
大学入門ゼミナール I	基盤科目（人間生活学科住空間・子どもコース）	1 年	必修

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
青年心理学	専門科目（人間生活学科）	2 年	選択
カウンセリング論 II	専門科目（人間生活学科）	3 年	選択
卒業研究 II	専門科目（人間生活学科）	4 年	必修
教育相談の基礎	教職科目（全学部）	2, 3 年	必修
大学入門ゼミナール II	基盤科目（人間生活学科ファッションコース）	1 年	必修
大学入門ゼミナール II	基盤科目（人間生活学科住空間・子どもコース）	1 年	必修

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

* 自身の教育に対する理念（教育者としての自覚、大切にしていること、学生への期待や思いなど）を記述します。

* 建学の精神、教育上の使命・目的、3つのポリシー（特にディプロマ・ポリシー）を踏まえてご記載ください。

5～10行以内でご記載ください

大学での学びは、積極性、自主性、自立性が高校までの学びに増して重要になります。授業では知識を習得し、それを活用すること、知的好奇心を発動して問題意識を持つことなどを目的としています。また心理学系の授業を主に担当することから、学生が自己理解を深め、適応的な対人交流を行っていきけるようになることを目的の一つとして、アクティブラーニング実践を取り入れ、グループワークやロールプレイ、シェアリングなどを行っています。全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、1、2年生の科目では、DP1-1「知識・理解」など基本的な学修の段階を経て、4年生の卒業研究でDP4-1「統合的な学習経験と創造的思考力」を用いた新たな社会の課題を発見し解決するための考察力、問題解決力を発揮できるよう支援と指導に努めています。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

* 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。
* 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

記載例)

教育方針 1 時間を守ること（社会人基礎力）

工夫①：初回授業のオリエンテーションで時間厳守の授業方針を伝えています。

工夫②：・・・

教育方針 2 自宅外学習習慣（予復習）を身につける

工夫①：授業が授業内だけで完結するものではなく予復習と一体であることを説明。

工夫②：予復習が習慣化するよう毎回、復習を前提とした予習を課し成績評価に反映。

教育方針 3 学習のアウトカムを出す

工夫①：・・・

工夫②：・・・

4. 成果と課題、今後の計画

* 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。
* 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。
* ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
* 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

- 自走的・継続的英語学習と資格取得等（TOEIC、英検等）に繋げることができた
- 積極的な学修姿勢を涵養できた（プロジェクト演習、英語スピーチコンテストなど）
- 英語学習と成果に関するデータを分析することができた。
- 英語カリキュラムに共通要素を取り入れることができた。
-

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

-
-

* 表紙を含め、全体として、3～5 ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学
所属 人間生活学部
人間生活学科
氏名 渋谷光美
作成日 2025年5月27日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。

大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

令和6（2024）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
社会学	基盤教育科目	1～4年	
西洋装飾文化	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
介護概論	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
福祉住環境	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
子どもと社会	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
共生社会と福祉	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
卒業研究Ⅰ	専門科目（人間生活学科）	4年	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
コミュニケーション論	専門科目（人間生活学科）	1～4年	
生活と環境	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
ライフコース論	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
子どもと健康	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
家族関係学	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
生活学専門演習	専門科目（人間生活学科）	3年～4年	
卒業研究Ⅱ	専門科目（人間生活学科）	4年	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

5～10行以内でご記載ください

大学での学びとして、日常生活において当たり前（自明なこととして）用いている言葉やさまざまな事柄などについて、少し立ち止まって考えてみよう、改めて捉え返し、問い直してみようという姿勢を大切にしていこうと、学生さんに働きかけています。学生さん自身の気づきや発想を表出してもらう機会を増やし、人間生活学科のディプロマ・ポリシーである、DP1 知識の修得・理解を通じた、DP2 の汎用的能力の向上につなげたいと思います。

講義では、国際的な視野を含め、生活上の困難を抱える人々などの存在を知り、思いを馳せることを通じて、社会的課題に対して身近な問題として引き寄せて考究できる DP3 の態度・志向性を育みつつ、主体的に考える思考過程を言語化して発表できる DP4 の創造的思考力を身につけた人材育成に注力しています。

3. 方法

教育方針 1

工夫①：

工夫②：

教育方針 2

工夫①：

工夫②：

教育方針 3

工夫①：

工夫②：

4. 成果と課題、今後の計画

【成果】

【課題と今後の展望】

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学

所属 人間生活学部

人間生活学科

氏名 梨木昭平

作成日 2025年6月13日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。
大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

「*」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

- * ここは教育活動について何をやっているかの概略を示します。
- * 本学において、現在または過去数年間に担当した科目（科目名、必修 or 選択、学年等）と教育活動（ゼミ・CA 担当、学科等での役割など）を列記します。
※今回は初回であるため、今年度担当分について記載してください。
- * 果たしている自身の教育上の責務について記述します。

令和 7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

記載例

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第 1 Q 等をご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
共通演習 B	基盤教育科目	1～4 年	
キャリアサポート演習	基盤教育科目	3～4 年	
教育方法論	教職科目	3～4 年	
道德教育の理論と方法	教職科目	2～4 年	
教育実習	教職科目	4 年	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
教職実践演習	教職科目	4 年	
教育実習指導	教職科目	3～4 年	
教職入門	教職科目	1～4 年	
教育課程論	教職科目	2～4 年	
特別活動の指導法	教職科目	2～4 年	
教育制度論	教職科目	2～4 年	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

* 自身の教育に対する理念（教育者としての自覚、大切にしていること、学生への期待や思いなど）を記述します。

* 建学の精神、教育上の使命・目的、3つのポリシー（特にディプロマ・ポリシー）を踏まえてご記載ください。

5～10行以内でご記載ください

教員としての実践力育成に重点を置いているため、学生による発表の場を多く設けている。1年「教職入門」では、教員志望理由や日本の学校教育について考えたことをスピーチする。2年「教育課程論」では、母校の教育課程や、自分自身の教科の学習指導計画について、受講者への問いかけを含めながら説明をする。「特別活動指導法」では、「特別活動」（学校行事や学級活動等）をテーマにして模擬授業を実施する。さらに、3年「教育方法論」では、自分の教科で(学習指導案を踏まえた)本格的な模擬授業を実施し、この頃に学生は教育実習の内諾訪問をする。その後、「教育実習指導」を経て、「教育実習」本番を迎える。同時に、3～4年「キャリアサポート演習」では、教員採用試験対策のための過去問や面接対策に取り組み、採用試験合格への支援もしている。4年「教職実践演習」では、実際に学校現場で直面する「保護者対応」や「生徒指導力」育成をテーマに、学校現場を想定した演習を実施し、教職生活の円滑なスタートをサポートする。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

* 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。

* 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

記載例)

教育方針 1 時間を守ること（社会人基礎力）

工夫①：初回授業のオリエンテーションで時間厳守の授業方針を伝えています。

工夫②：・・・

教育方針 2 自宅外学習習慣（予復習）を身につける

工夫①：授業が授業内だけで完結するものではなく予復習と一体であることを説明。

工夫②：予復習が習慣化するよう毎回、復習を前提とした予習を課し成績評価に反映。

教育方針 3 学習のアウトカムを出す

工夫①：・・・

工夫②：・・・

4. 成果と課題、今後の計画

* 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。

* 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。

- * ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
- * 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

- 自走的・継続的英語学習と資格取得等（TOEIC、英検等）に繋げることができた
- 積極的な学修姿勢を涵養できた（プロジェクト演習、英語スピーチコンテストなど）
- 英語学習と成果に関するデータを分析することができた。
- 英語カリキュラムに共通要素を取り入れることができた。
- ・・・

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

- ・・・・・・・・・・
- ・・・・・・・・・・

* 表紙を含め、全体として、3～5ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学
所属 人間生活学部
人間生活学科
氏名 光松 佐和子
作成日 2025年6月13日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。
大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

「*」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

- * ここは教育活動について何をやっているかの概略を示します。
- * 本学において、現在または過去数年間に担当した科目（科目名、必修 or 選択、学年等）と教育活動（ゼミ・CA 担当、学科等での役割など）を列記します。
※今回は初回であるため、今年度担当分について記載してください。
- * 果たしている自身の教育上の責務について記述します。

令和 7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第 1 Q 等をご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
アパレル実習 I	専門科目（人間生活学科）	1～4 年	
衣生活論	専門科目（人間生活学科）	1～4 年	
カラーコーディネート論	専門科目（人間生活学科）	1～4 年	第 I Q
卒業研究 I	専門科目（人間生活学科）	4 年	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
生活学専門演習	専門科目（人間生活学科）	3 年	
アパレル素材論	専門科目（人間生活学科）	3 年	
生活デザイン実習 I （ファッション）	専門科目（人間生活学科）	2～4 年	
ライフマネジメント論	専門科目（人間生活学科）	1～4 年	
卒業研究 II	専門科目（人間生活学科）	4 年	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

- * 自身の教育に対する理念（教育者としての自覚、大切にしていること、学生への期待や思いなど）を記述します。
- * 建学の精神、教育上の使命・目的、3つのポリシー（特にディプロマ・ポリシー）を踏まえてご記載ください。

5～10行以内でご記載ください

大学での授業は高校までとは異なり、自主的な学習が求められるため、文章を読み、人の話をよく聞いて理解し、整理して、自分の意見を述べることの大切さを伝えています。さまざまな意見を持つ人とかかわりの中で新しい考えに触れ、自身を振り返り、新たな道を切り拓く一歩を踏み出せるような授業を行いたいと考えています。

人間生活学科のディプロマ・ポリシーとの関係では、DP1-1 人間生活における諸課題に関する基礎的な知識を修得することを目指し、DP1-2 ファッション分野における専門知識の習得を目指しています。また、現代社会が抱えている問題に関わるトピックを数多く取り扱い、調査・発表・ディスカッションを重ねることで、DP4-1 新たな社会の課題を発見し解決するための考察力、問題解決力の育成に力を入れています。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

- * 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。
- * 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

記載例)

教育方針 1 時間を守ること（社会人基礎力）

工夫①：初回授業のオリエンテーションで時間厳守の授業方針を伝えています。

工夫②：・・・

教育方針 2 自宅外学習習慣（予復習）を身につける

工夫①：授業が授業内だけで完結するものではなく予復習と一体であることを説明。

工夫②：予復習が習慣化するよう毎回、復習を前提とした予習を課し成績評価に反映。

教育方針 3 学習のアウトカムの出す

工夫①：・・・

工夫②：・・・

4. 成果と課題、今後の計画

- * 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。
- * 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。
- * ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
- * 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

- 自走的・継続的英語学習と資格取得等（TOEIC、英検等）に繋げることができた
- 積極的な学修姿勢を涵養できた（プロジェクト演習、英語スピーチコンテストなど）
- 英語学習と成果に関するデータを分析することができた。
- 英語カリキュラムに共通要素を取り入れることができた。
- ・・・

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

- ・・・・・・・・・・
- ・・・・・・・・・・

- * 表紙を含め、全体として、3～5 ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学
所属 人間生活学部
人間生活学科
氏名 宮崎 陽子
作成日 2025年6月17日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。
大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

「*」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

- * ここは教育活動について何をやっているかの概略を示します。
- * 本学において、現在または過去数年間に担当した科目（科目名、必修 or 選択、学年等）と教育活動（ゼミ・CA 担当、学科等での役割など）を列記します。
※今回は初回であるため、今年度担当分について記載してください。
- * 果たしている自身の教育上の責務について記述します。

令和 7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

記載例

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第 1 Q 等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
生活学概論	専門教育科目（人間生活学部）	1～4 年	人間生活学部必修
住居学概論（製図を含む）	専門教育科目（人間生活学科）	1～4 年	住空間・ファッションデザインコース必修（3・4 年） 住空間デザインコース必修（1・2 年）
住生活演習	専門教育科目（人間生活学科）	3～4 年	住空間・ファッションデザインコース必修（3・4 年） 住空間デザインコース必修（1・2 年）
卒業研究 I	専門教育科目（人間生活学科）	4 年	必修
家庭科教育法 I	教科及び教科の指導法に関する科目（教職課程）	2～4 年	要卒外
インテリア設計実習	専門教育科目（人間生活学科）	3～4 年	インテリア設計士 2 級試験「学科」担当

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
ライフマネジメント実習	専門教育科目（人間生活学科）	2～4 年	教職（家庭）必修
卒業研究 II	専門教育科目（人間生活学	4 年	必修

	科)		
家庭科教育法Ⅱ	教科及び教科の指導法に関する科目(教職課程)	2～4年	要卒外
家庭科教育法Ⅳ	教科及び教科の指導法に関する科目(教職課程)	3～4年	要卒外
生活学専門演習	専門教育科目(人間生活学科)	3～4年	必修 分担任当
教育実習指導(中・高)	教育実践に関する科目(教職課程)	4年	要卒外 分担任当

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

- * 自身の教育に対する理念(教育者としての自覚、大切にしていること、学生への期待や思いなど)を記述します。
- * 建学の精神、教育上の使命・目的、3つのポリシー(特にディプロマ・ポリシー)を踏まえてご記載ください。

5～10行以内でご記載ください

大学では、学生が主体的に取り組み、自ら課題を発見し、調べ・考え・仲間と議論して、自分の考えを整理し表現する学びが求められます。特に人間生活学科では、家政学の視点からの問題意識に基づく真理の探究や創造性を育む力の獲得が大切と考えています。しかし、過去の学習や経験が体系的に積み重ねられておらず、学ぶ楽しさを実感していない学生も少なくありません。授業では、小・中・高校の学習内容を想起できるような話題や身近な問題をテーマに掲げ、自分、家庭、地域、社会へと問題意識を広げられるよう心がけています。また、内容理解の定着と自己評価を目的とした振り返りの場や、学生同士が多様な意見を交換し、自分の意見を客観視できる場も積極的に取り入れています。全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、DP1-1で基礎的な知識を、DP1-2で専門基礎知識・技能を相互に関連づけた概念で説明ができ、DP4-1で社会の課題を自ら発見、分析、原因を究明し、論理的に整合し、解決に向けた提案を行い実行するという段階的で継続的な学習に導けるよう心掛けています。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

- * 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。
- * 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

記載例)

教育方針 1 時間を守ること (社会人基礎力)

工夫①: 初回授業のオリエンテーションで時間厳守の授業方針を伝えています。

工夫②:

教育方針 2 自宅外学習習慣 (予復習) を身につける

工夫①: 授業が授業内だけで完結するものではなく予復習と一体であることを説明。

工夫②: 予復習が習慣化するよう毎回、復習を前提とした予習を課し成績評価に反映。

教育方針 3 学習のアウトカムを出す

工夫①:

工夫②:

4. 成果と課題、今後の計画

- * 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。
- * 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。
- * ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
- * 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

- 自走的・継続的英語学習と資格取得等 (TOEIC、英検等) に繋げることができた
- 積極的な学修姿勢を涵養できた (プロジェクト演習、英語スピーチコンテストなど)
- 英語学習と成果に関するデータを分析することができた。
- 英語カリキュラムに共通要素を取り入れることができた。
-

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

-
-

* 表紙を含め、全体として、3～5 ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学

所属 人間生活学部

人間生活学科

氏名 市田 哲朗

作成日 2025年5月27日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。

大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

「*」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

- * ここは教育活動について何をやっているかの概略を示します。
- * 本学において、現在または過去数年間に担当した科目（科目名、必修 or 選択、学年等）と教育活動（ゼミ・CA 担当、学科等での役割など）を列記します。
※今回は初回であるため、今年度担当分について記載してください。
- * 果たしている自身の教育上の責務について記述します。

令和 7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第 1 Q 等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
製菓理論 I	専門科目（人間生活学科）	1 年	
卒業研究 I	専門科目（人間生活学科）	4 年	
食クリエイト演習Ⅲ	専門科目（人間生活学科）	3 年	
洋菓子基礎実習 I	専門科目（人間生活学科）	1 年	第 1 Q
洋菓子基礎実習 II	専門科目（人間生活学科）	1 年	第 2 Q
製菓衛生師特別演習 II	専門科目（人間生活学科）	3 年	第 1 Q

【夏期集中】担当科目なし

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
製菓理論 II	専門科目（人間生活学科）	1 年	
卒業研究 II	専門科目（人間生活学科）	4 年	
食クリエイト演習 II	専門科目（人間生活学科）	3 年	
製菓専門実習	専門科目（人間生活学科）	2 年	
製菓衛生師特別演習 II	専門科目（人間生活学科）	3 年	

【春期集中】担当科目なし

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

3 年生クラスアドバイザー

2. 理念

- * 自身の教育に対する理念（教育者としての自覚、大切にしていること、学生への期待や思いなど）を記述します。
- * 建学の精神、教育上の使命・目的、3つのポリシー（特にディプロマ・ポリシー）を踏まえてご記載ください。

5～10行以内でご記載ください

学力を上げる事だけではなく、「学び方を学ぶ」という事を大切に指導しています。最近では、教えてもらう事に依存する学生も多く、自ら課題を発見し解決する力が乏しくなっているように感じるからです。どんな事からも学びがあり、それらを繋げていく事で問題解決や新たな視点が生まれるという事を体感してほしい、様々な切り口の授業を行っています。

飲食業界は時代の流れと共に必要とされるスキルも変化していきます。全学ディプロマポリシー4「総合的な学修体験と創造的思考力」が特に重要となりますので、伝える内容が古くならないよう授業も毎年アップデートし、学生が常に最新の情報を得られるよう工夫しております。また、学生が将来的に学んだ事を時代に合わせて変化させることが出来るように、結論には余白を残すようにしています。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

- * 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。
- * 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

教育方針 1

工夫①：

工夫②：・・・・

教育方針 2

工夫①

工夫②：

教育方針 3

工夫①：・・・・

工夫②：・・・・

4. 成果と課題、今後の計画

- * 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。
- * 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。
- * ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
- * 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

-
-
-
-
-

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

- * 表紙を含め、全体として、3～5 ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学

所属 人間生活学部

人間生活学科

氏名 新井 寛規

作成日 2025年6月2日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。

大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

「*」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

- * ここは教育活動について何をやっているかの概略を示します。
- * 本学において、現在または過去数年間に担当した科目（科目名、必修 or 選択、学年等）と教育活動（ゼミ・CA 担当、学科等での役割など）を列記します。
※今回は初回であるため、今年度担当分について記載してください。
- * 果たしている自身の教育上の責務について記述します。

令和 7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

記載例)

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第 1 Q 等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
教育原理	教職科目	2～4 年	
卒業研究 I	基盤教育科目	4 年	
こども教育論	専門科目(人間生活)	1～4 年	
こども教育演習 B	基盤教育科目	2～4 年	
共通演習 I A	基盤教育科目	1～4 年	
児童福祉論	基盤教育科目	3～4 年	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
保育学	専門科目（人間生活）	1～4 年	
生徒指導論	専門科目（人間生活）	3～4 年	第 3 Q
進路指導論	教職科目	3～4 年	
生活学専門演習	専門科目（人間生活）	3～4 年	
総合的な学習の時間及び特別活動の指導法	教職科目	2～4 年	
卒業研究 II	基盤教育科目	3 年	
こども教育演習 A	専門科目（人間生活）	3～4 年	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

- * 自身の教育に対する理念（教育者としての自覚、大切にしていること、学生への期待や思いなど）を記述します。
- * 建学の精神、教育上の使命・目的、3つのポリシー（特にディプロマ・ポリシー）を踏まえてご記載ください。

5～10行以内でご記載ください

私は、ディプロマ・ポリシーを基盤として、以下の教育を行います。

- ・ DP1-1（多様性への理解）にある、幅広い視野と柔軟な感性で「もの」「こと」を受けとめ、理解するため、教室外の活動やフィールドワーク、図書や映像教材を活用した教材を使用し工夫します。これは、DP4-1（課題解決力）にも大きく関係します。
- ・ DP3-1（常に前向きに学ぼうとする姿勢を育み、主体的に取り組むため、自己表現や作品制作の機会を設ける。こうした表現や製作活動は、DP3-3（協働力）にも通ずる。
- ・ DP4-2（生涯学習力）にある多様な学修経験を総合し、生涯にわたって学び続ける力をつけられるよう、時には具体的な目標設定を設けたり、学生自身が興味関心のある学問分野を選択できるような機会を提供する。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

- * 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。
- * 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

記載例)

教育方針 1 時間を守ること（社会人基礎力）

工夫①：初回授業のオリエンテーションで時間厳守の授業方針を伝えています。

工夫②：・・・

教育方針 2 自宅外学習習慣（予復習）を身につける

工夫①：授業が授業内だけで完結するものではなく予復習と一体であることを説明。

工夫②：予復習が習慣化するよう毎回、復習を前提とした予習を課し成績評価に反映。

教育方針 3 学習のアウトカムを出す

工夫①：・・・

工夫②：・・・

4. 成果と課題、今後の計画

- * 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。
- * 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。
- * ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
- * 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

- 自立的・継続的英語学習と資格取得等（TOEIC、英検等）に繋げることができた
- 積極的な学修姿勢を涵養できた（プロジェクト演習、英語スピーチコンテストなど）
- 英語学習と成果に関するデータを分析することができた。
- 英語カリキュラムに共通要素を取り入れることができた。
-

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

-
-

- * 表紙を含め、全体として、3～5 ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学

所属 人間生活学部

人間生活学科

氏名 湊 敏文

作成日 2025年6月9日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。

大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

「*」ではじまるコメントは執筆時には削除してください。

- * ここは教育活動について何をやっているかの概略を示します。
- * 本学において、現在または過去数年間に担当した科目（科目名、必修 or 選択、学年等）と教育活動（ゼミ・CA 担当、学科等での役割など）を列記します。
※今回は初回であるため、今年度担当分について記載してください。
- * 果たしている自身の教育上の責務について記述します。

令和 7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第 1 Q 等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
大学入門ゼミナール I	基盤教育科目	1～4 年	
プロジェクト演習 A	基盤教育科目	1～4 年	
食生活論	専門科目（人間生活学科）	2～4 年	
食クリエイト専門演習 I	専門科目（人間生活学科）	3～4 年	2 コマ
卒業研究 I	専門科目（人間生活学科）	4 年	
食品評価論	専門科目（人間生活学科）	4 年	2 コマ
フードスペシャリスト論	専門科目（人間生活学科）	4 年	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
大学入門ゼミナール II	基盤教育科目	1～4 年	
国際食文化	専門科目（人間生活学部）	2～4 年	
調理学	専門科目（人間生活学科）	3～4 年	
食クリエイト専門演習 IV	専門科目（人間生活学科）	4 年	
卒業研究 II	専門科目（人間生活学科）	4 年	
カフェ演習 II	専門科目（人間生活学科）	4 年	2 コマ

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

- * 自身の教育に対する理念（教育者としての自覚、大切にしていること、学生への期待や思いなど）を記述します。
- * 建学の精神、教育上の使命・目的、3つのポリシー（特にディプロマ・ポリシー）を踏まえてご記載ください。

5～10行以内でご記載ください

教育とは「教え育てる」事であり、大学教育は知識や技能だけでなく、社会生活や人との繋がり的重要性を学ぶ場と考えます。自分自身のこれまでも職歴より、食に関する先進的な知識と技能を身につけて、食の伝統と文化を理解した上で、食を通じて社会に貢献できる人材を育てること、単に知識を受け渡すだけに終わらないようを心掛けています。特に基盤教育である「演習プロジェクト」では、外郭団体との産学連携による商品開発は、当初から企業側の意見を取り入れるのではなく、時間がかかっても学生が主体的に意見や案を出し、製作することで達成感を得ることを重視しています。具体的には、①自ら体感してもらうこと、②なるべく具体例を交えて伝えること、③自ら実践を行うことでより理論と技術を身体で覚えていくことから、実践しています。全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、DP4-1（課題解決力）「学内外の能動的学修経験を通して、課題を発見する力、課題解決のために必要な情報を収集し分析する力、課題解決に向けた行動力を身につける」の育成に重点を置いています。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

- * 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。
- * 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

記載例)

教育方針 1 時間を守ること（社会人基礎力）

工夫①：初回授業のオリエンテーションで時間厳守の授業方針を伝えています。

工夫②：・・・

教育方針 2 自宅外学習習慣（予復習）を身につける

工夫①：授業が授業内だけで完結するものではなく予復習と一体であることを説明。

工夫②：予復習が習慣化するよう毎回、復習を前提とした予習を課し成績評価に反映。

教育方針 3 学習のアウトカムの出す

工夫①：・・・

工夫②：・・・

4. 成果と課題、今後の計画

- * 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。
- * 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。
- * ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
- * 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

- 自立的・継続的英語学習と資格取得等（TOEIC、英検等）に繋げることができた
- 積極的な学修姿勢を涵養できた（プロジェクト演習、英語スピーチコンテストなど）
- 英語学習と成果に関するデータを分析することができた。
- 英語カリキュラムに共通要素を取り入れることができた。
-

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

-
-

- * 表紙を含め、全体として、3～5 ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。

羽衣ティーチング・ポートフォリオ

大学名 羽衣国際大学

所属 人間生活学部

人間生活学科

氏名 山本 幸恵

作成日 2025年6月12日

教員の教育力向上に向けた全学的なティーチング・ポートフォリオの取組について

羽衣国際大学 学長 中川 恵

本学園の建学の精神『愛真教育』に基づく自由・自主・自立・個性尊重の人間教育を通して社会に有為な人材を育成する」、大学の使命・目的「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」を目指す上で、不断の教育改革を欠かすことはできません。

本学の教員一人ひとりが自らの教育活動について、その理念や責務を明らかにしつつ、具体的な活動を記録し振り返り、それらを組織的に共有することは、個々の教育活動の質を向上させるとともに、大学全体の教育力を高めることに繋がります。

以上の趣旨を踏まえ、本学では、以下のとおり「ティーチング・ポートフォリオ」の作成を行うこととします。

大学教育の根幹である個々の授業を担当される各位におかれては、全学教育及び各学部学科等における教育活動を学生・教員双方にとってより意義深いものとするため、「ティーチング・ポートフォリオ」の作成に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 羽衣国際大学 ティーチング・ポートフォリオの定義

本学のティーチング・ポートフォリオは、本学の建学の精神、教育上の使命・目的、全学及び学部学科等ポリシー等を踏まえ、自らの教育活動について、以下の項目に基づいて教育理念から成果までを自己省察し、記載するものとし、これらを裏付ける根拠資料によって構成します。

- (1) 責務（何を行っているか） 担当科目など
- (2) 理念（どのような考えに基づいて行っているか） 教育上のもっとも大切にしていること
- (3) 方法（その考えをどのように実現しているか） 理念を実現するために工夫していること
- (4) 成果と課題、今後の目標

2. 作成・活用について

- (1) ティーチング・ポートフォリオは、原則として教育活動に従事する全専任教員を対象として毎年度作成し、所属長（各学科長、共通教育開発センター長）に提出します（電子ファイル）。
- (2) 所属長は、各教員から提出されたティーチング・ポートフォリオの内容を確認し、学科等の三つのポリシーとの整合性のチェックするほか、カリキュラム編成などの参考とします。
- (3) ティーチング・ポートフォリオの活用は、内部質保証委員会、自己点検・評価委員会、IR推進委員会、学科会議、教学委員会、FD委員会など関連する会議体と連携して取り組みを推進します。

3. 運用について

ティーチング・ポートフォリオの運用は大学事務局（総務課、教務支援課）が行います。

4. 公表について

ティーチング・ポートフォリオは、教育改善・教育の質向上に資するため、本学ホームページ等を通して公表します。

1. 責務

令和7（2025）年度の担当科目をご記載ください（科目名称、科目分野、配当学年）。

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
食品学Ⅰ	専門科目（人間生活学科）	1～4年	
栄養学Ⅰ	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
製菓衛生師特別演習Ⅱ	専門科目（人間生活学科）	3～4年	第1Q
調理実習基礎	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
卒業研究Ⅰ	専門科目（人間生活学科）	4年	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター
食品学Ⅱ	専門科目（人間生活学科）	1～4年	
栄養学Ⅱ	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
製菓衛生師特別演習Ⅰ	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
栄養と健康	専門科目（人間生活学科）	1～4年	
調理実習応用	専門科目（人間生活学科）	2～4年	
卒業研究Ⅱ	専門科目（人間生活学科）	4年	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考 クォーター

2. 理念

5～10行以内でご記載ください

授業を通じて学生一人一人が、自己肯定感が高く、前向きに物事を捉えて自信をもって行動ができるようになることを心がけています。

人間生活学科のディプロマ・ポリシーでは、DP1-1 人間生活における諸課題に関する基礎的な知識を修得して自己管理ができること、DP1-2 食クリエイティブの分野での専門的な知識を修得して国家資格である製菓衛生師の資格を取得することを目指しています。またグループでの実習では、DP3-1 主体的に行動しながら自己管理ができ、チームを重視し、社会で信頼され活躍できる人間力とリーダーシップを有する人となるよう、工夫をしています。

以下の項目については、後期授業終了後、ご記載いただきますので、現時点では記載不要です。

3. 方法

* 自分の行っている教育方法について説明します。教育方針を見出しとし、その方針を具体化するための方法を箇条書きで示します。

* 例えば、教授方法、授業内での工夫、開発した教材、授業以外の諸活動、自己研鑽などです。

記載例)

教育方針 1 時間を守ること (社会人基礎力)

工夫①：初回授業のオリエンテーションで時間厳守の授業方針を伝えています。

工夫②：・・・

教育方針 2 自宅外学習習慣 (予復習) を身につける

工夫①：授業が授業内だけで完結するものではなく予復習と一体であることを説明。

工夫②：予復習が習慣化するよう毎回、復習を前提とした予習を課し成績評価に反映。

教育方針 3 学習のアウトカムを出す

工夫①：・・・

工夫②：・・・

4. 成果と課題、今後の計画

- * 自分の行った教育活動の成果と課題を箇条書きで示します。
- * 正課については、学生からの授業評価、学生の学修成果として、理解が深まった、興味関心を高めた、資格取得につながった、進路決定につながった、学生が学会等で発表した、学生が表彰されたなど。
- * ご自身の教育活動を学会等で発表したり、論文等にまとめられたりした場合は、成果として記載してください。
- * 課題については成果を踏まえつつ、どのような課題が残されているか、教育をさらに発展させていくための計画について記載してください。

記載例)

【成果】

- 自立的・継続的英語学習と資格取得等（TOEIC、英検等）に繋げることができた
- 積極的な学修姿勢を涵養できた（プロジェクト演習、英語スピーチコンテストなど）
- 英語学習と成果に関するデータを分析することができた。
- 英語カリキュラムに共通要素を取り入れることができた。
-

【課題と今後の展望】 ※今後、取り組みたい内容などでも結構です

-
-

- * 表紙を含め、全体として、3～5 ページ程度までとします。

【添付資料】

- * TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙します。
- * 電子データの添付は不要ですが、関連 URL がある場合はタイトルの後に付記してください。